

アフターサービス

補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後、6年です。

- この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理については、販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは、品名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 一般家庭以外（例えば業務用など）に使われたときの故障は保証期間内でも原則として有料修理になります。

保証書について

- この製品には「保証書」がついています。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効になりません。万が一、記入がない場合は、お早めにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 万が一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が無料修理いたします。

不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■床下換気システム

取扱説明書

ユニットタイプ(P/Y)

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、しては
いけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行して
いただく「強制」内容です。



警告



■仕様変更・改造・分解は絶対にしない。
火災・感電・けがの原因となります。



■製品を水につけたり水をかけたりしない。
ショート・感電・火災の恐れがあります。



■コンセントや配線器具の定格を超える
使い方や、交流100V以外で使用しない。
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。



■火気の近くでは使用はしない。
火災の原因となります。



■さだめられた場所以外で使用しない。
(本製品は床下専用です)
火災・感電・けがおよび故障の原因となります。



■取付工事および電気工事は
「電気設備技術基準」「内線規程」
に基づいて専門工事店が行なう。
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。



■さだめられた施工以外で使用しない。
火災・感電・けがおよび故障の原因となります。



■台風時など床下浸水が予想されるような場合は
電源を切ってください。また、床下浸水などが
あった場合は部品の交換が必要です。
(お買い上げの販売店にご相談ください)



注意



■運転中は危険ですから本体内部に指や物を入れない。
感電・火傷・けがの恐れがあります。



■本体取り付けのときは必ず手袋などを着用する。
けがの恐れがあります。



■水につかるところや床下地面がたえず水分を
おびている住宅に取付けない。
ショート・感電・火災の原因になります。



■製品の上に物を置かない。
破損・変形の原因になります。



■固定足を持って運んだり動かしたりしない。
破損・変形の原因になります。



■落とさない。
破損・変形の原因になります。



フィトンチッドカートリッジに関するご注意

保管上の注意

■直射日光や高温の場所を避けて保管してください。

使用上の注意

■幼児の手の届かないところに保管してください。

■このカートリッジは必ず専用の機器で使用してください。その他の使用はしないでください。

■本品を分解しないでください。

■天然植物精油を使用していますので火気の近くでの使用は避けてください。

■万一、内容物がカートリッジの表面に付着していた場合は、よく拭き取って使用してください。

■万一、内容物が皮膚についた場合は石鹸などでよく洗ってください。

■使用済みのフィトンチッドカートリッジはプラスチックごみとして地域の条例や
自治体の指示に従って廃棄してください。



経年劣化に係る注意喚起のため下の内容の表示を本体の銘板付近にしています。

■【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。 ■【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

愛情点検



長年ご使用の点検を

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある
- 回転が遅い、または回転が不規則である
- 運転中に異常な音や振動がする
- 焦げくさい“におい”がする
- その他の異常がある

ご使用
中 止

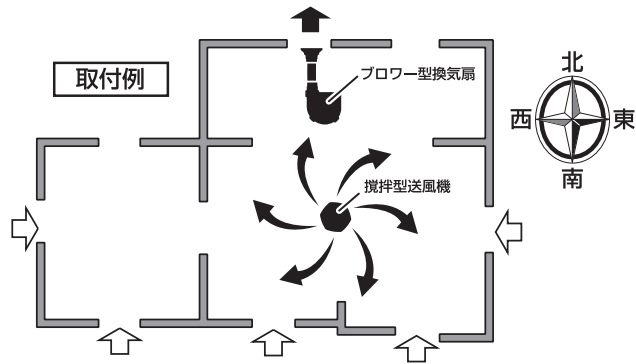
このような症状のときは、故障や
事故防止のため、プラグを抜いて、
必ず販売店に点検・修理をご相談
ください。

取付場所

ブロー型換気扇

本来の効果を損なうことのないよう設置位置選定と使用方法に配慮してください。

- 外気の流れを考慮し、床下の風がよく流れる位置に換気扇と換気口を設けてください。
- 湿気の多い場所や、水まわりの部屋付近に取り付けると効果的です。
- 吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所に取り付けてください。
- 積雪により、換気口がふさがれてしまうような所は防雪の処置が必要です。
- 換気口の近くに物を置かないでください。換気性能の低下や騒音の原因になります。
- 使用可能温度条件（-5℃～40℃）以外のところに取り付けしないでください。
- 風雨や風雪の吹き込みがない場所を選んでください。
- 換気格子の空気抵抗が大きい場合、換気口の格子を取り除いて防虫ネット（オプション）を取り付けてください。



攪拌型送風機

- 床下の風がよどむ位置に送風機を設置してください。
- 湿気の多い場所や、水まわりの部屋付近に取り付けると効果的です。
- 風雨や風雪の吹き込みがない場所を選んでください。
- 使用可能温度条件（-5℃～40℃）以外のところに取り付けしないでください。

コントローラー又はタイマー

- コンセント付近の都合の良い柱、または壁に取り付けてください。
- 換気扇を取り付けた近くの室内に取り付けてください。
- VVFケーブルを床下から立ち上げられるような板張り、または畳の部屋に取り付けてください。
- 配線固定にはモールを使用してください。

※詳細はコントローラー又はタイマーの取扱説明書を参照してください。

仕様

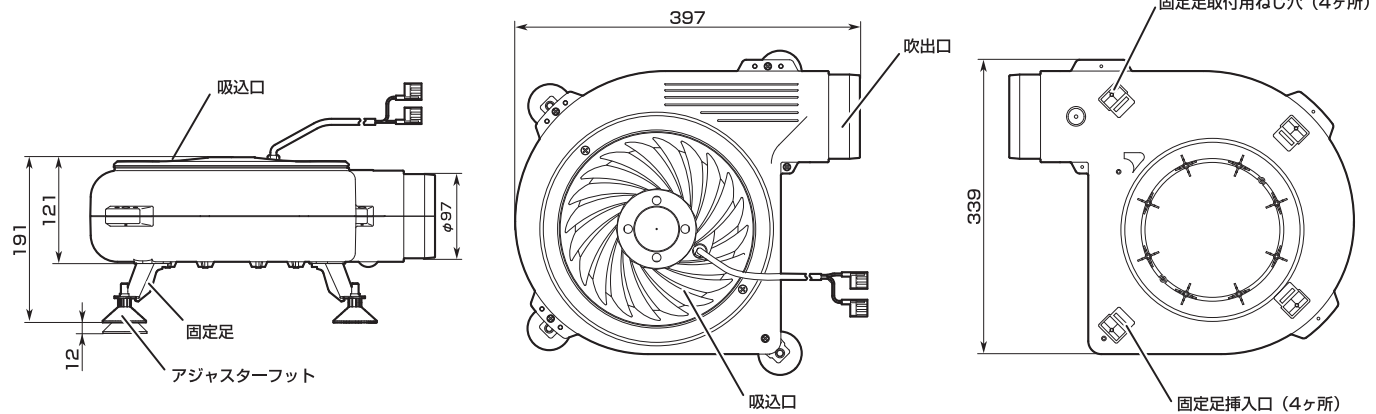
	ブロー型換気扇	攪拌型送風機
定格電圧	AC100 [V]	AC100 [V]
定格周波数	50/60 [Hz]	50/60 [Hz]
定格消費電力	26/30 [W]	26/30 [W]
風 量	248/231 [m³/h]	501/467 [m³/h]
騒 音	50/48 [dB] (※1)	50/48 [dB] (※1)
質 量	約 2.6 [kg] (※2)	約 3.1 [kg] (※2)

(※1) 吹出口から45° 1m地点で測定 (※2) 付属部品を除く

各部の名称・外形寸法図

[単位：mm]

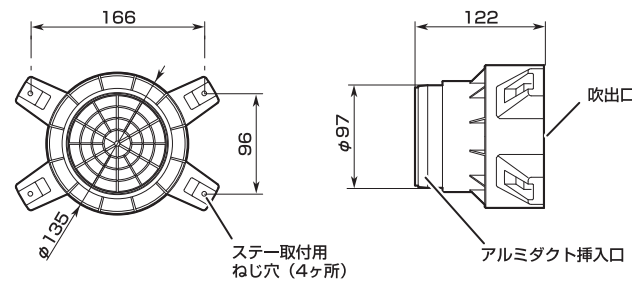
■ブロー型本体



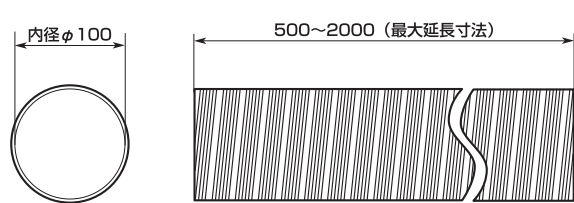
Fタイプ

※据置Fタイプは以下の内容が含まれます。

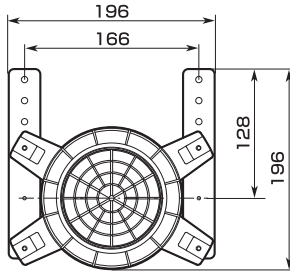
■吹出ノズル



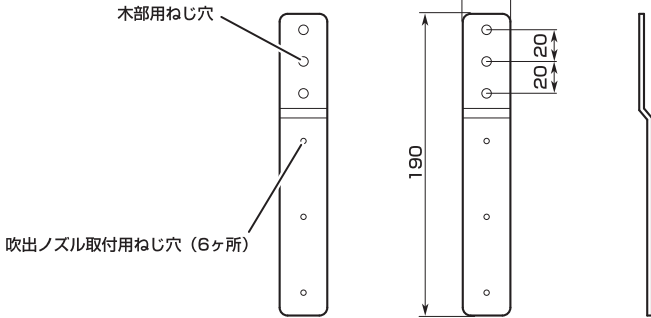
■アルミダクト



■吹出部完成



■ステー (2本1組)



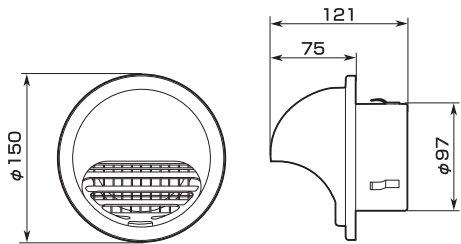
●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- コントローラー又はタイマー 一式 (※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本

- アルミテープ×2本
- 固定足+アジャスターフット×4ヶ
- トラスタッピンねじ (φ4×12) ×4本 (固定足取付用)
- 吹出ノズル×1ヶ
- ステー×2本

- セルフタッピンねじ (M4×16) ×4本 (ステー取付用)
- トラスタッピンねじ (φ4×16) ×4本 (ステー木部取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ (※3)

■パイプフード



Pタイプ

※据置Pタイプは以下の内容が含まれます。

●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- コントローラー又はタイマー 一式 (※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本

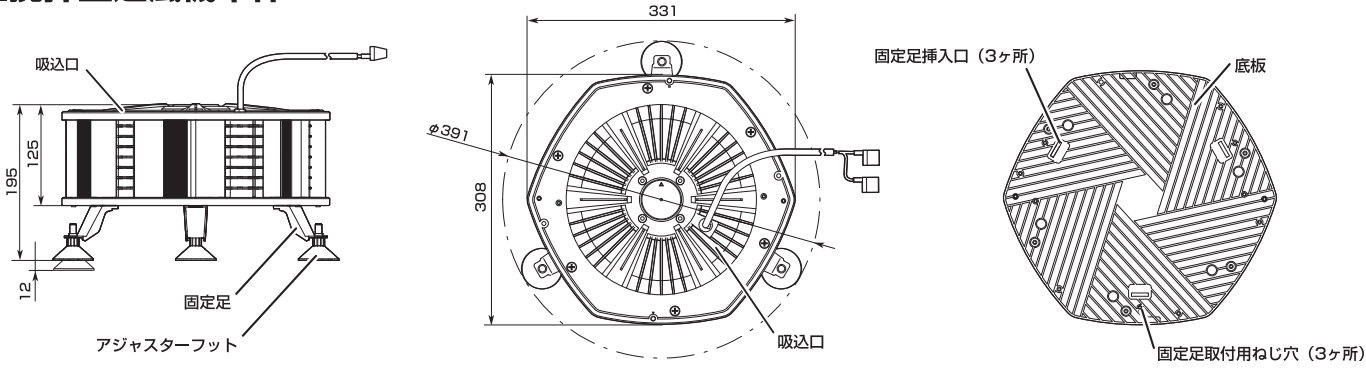
- アルミテープ×2本
- 固定足+アジャスターフット×4ヶ
- トラスタッピンねじ (φ4×12) ×4本 (固定足取付用)
- パイプフード×1ヶ
- コネクタキャップ×2ヶ (※3)

(※1) 1セットに1冊 (※2) コントローラー又はタイマーなしの場合は梱包箱に記載 (※3) 配線用追加分の1ヶはコントローラーに付属しています

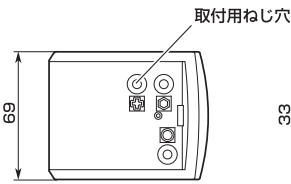
各部の名称・外形寸法図

■攪拌型送風機本体

[単位：mm]



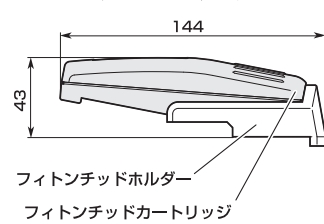
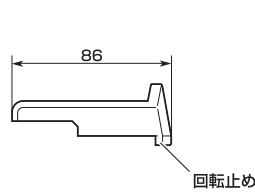
■フィトンチッドホルダー



- 梱包内容 (本体1台)
- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)

- 固定足+アジャスターフット×3ヶ
- トラスタッピンねじ (φ4×12) ×3本 (固定足取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ (※2)

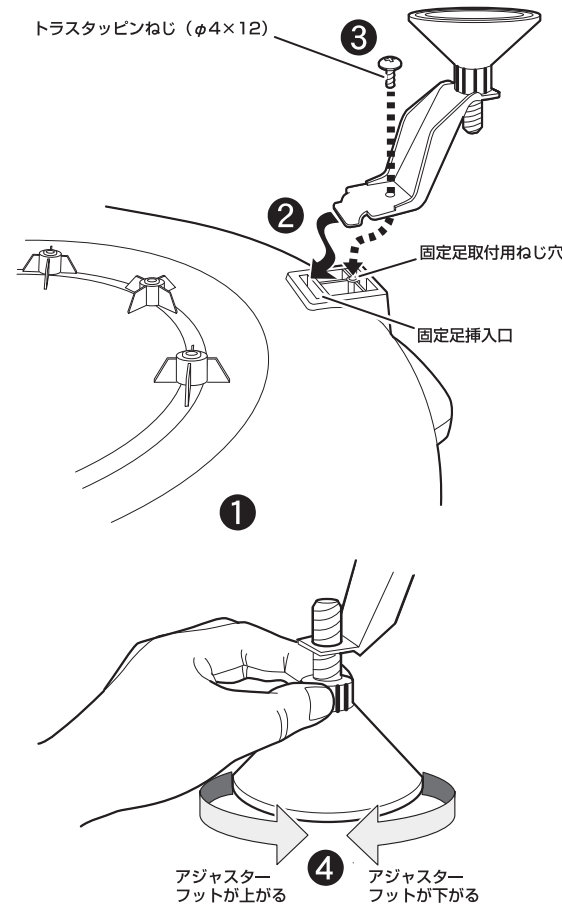
■フィトンチッドカートリッジ + フィトンチッドホルダー



- フィトンチッドカートリッジ×1ヶ (標準お試し版)

(※1) 1セットに1冊 (※2) 配線用追加分の1ヶはコントローラーに付属しています

ブロー型換気扇の組立方法



- 1 本体を逆さまにし、底面を上にします。

△ 注意

- 本体を逆さまにする際に吸込口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。

- 2 固定足挿入口に合わせて固定足の先を差し込みます。

- 3 底面の固定足取付用ねじ穴に固定足の穴を合わせ、付属のトラスタッピンねじ (φ4×12) で締め付け、固定します。
※②～③をくりかえして固定足を4ヶ所取り付けます。

△ 注意

- ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

- 4 本体をもとにもどし、本体が水平になり、また、がたつきがないようにアジャスターフットの高さを調整します。

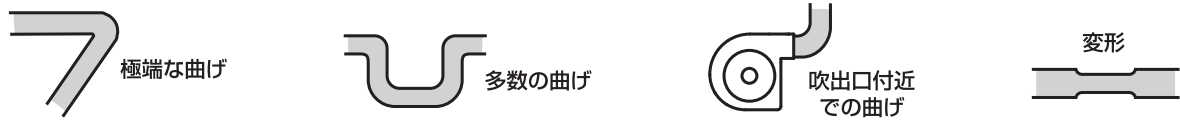
※時計方向にまわすとアジャスターフットが下がります。
反時計方向にまわすとアジャスターフットが上がります。

△ 注意

- 据置面が水平であるか確認して据え置いてください。
- 据え置く時はアジャスターフットの下に小石などがいないことをご確認ください。
- 固定足を持って運んだり、施工時に押したり引いたりしないでください。破損・変形の原因となります。

ダクト工事に関する注意事項

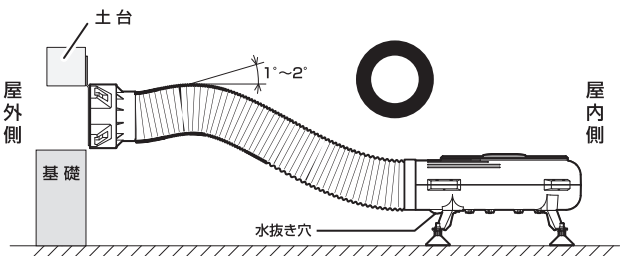
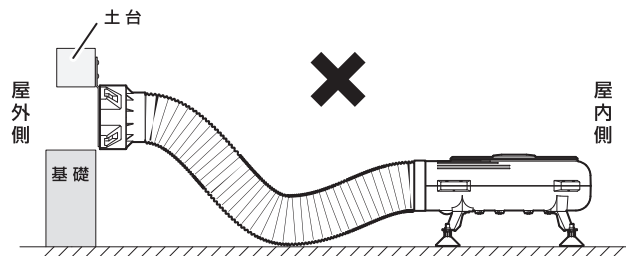
次のようなダクト工事はしないでください。(性能低下や騒音の原因になります)



アルミダクトは屋外側に1°～2° 下りこう配にし、本体までたるませずに接続してください。

△ 注意

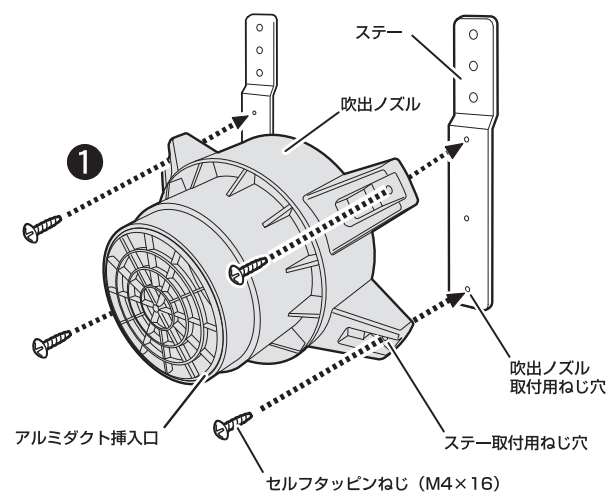
- 屋外からの雨水等がアルミダクトにたまらないようにしてください。



結露対策について

- 冬期など周囲とダクトの温度差のためダクトが結露する際は (特に寒冷地)、ダクトに断熱材を巻くか、断熱対策がなされているダクト (市販品) の使用をおすすめします。

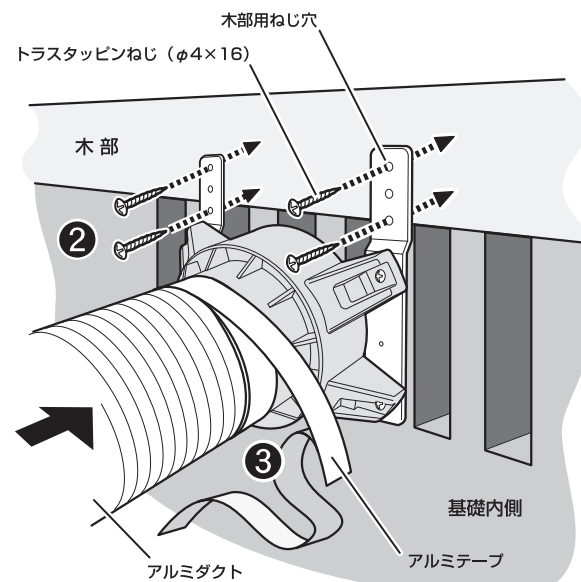
ブロー型換気扇の施工方法（据置Fタイプ）



- △ 注意**
- アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
 - アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取り付けてください。

- 1** 吹出ノズル取付用ねじ穴にステー取付用ねじ穴を合わせ、付属のセルフタッピンねじ（M4×16）で締め付け、固定します。（吹出部完成）
- ※床下に入る前に取り付けておくと効率的です。

- △ 注意**
- ステーの方向に注意してください。
 - ねじの締めはじめは、ねじ山が切れ込むように下向きに力をいれて回してください。
 - ねじの締めすぎに注意してください。破損の恐れがあります。
 - 締め付けの際、ねじの先端が約3mm出ますので注意してください。けがの恐れがあります。
 - 電動ドライバは使用しないでください。
 - ステーのバリに注意してください。けがの恐れがあります。



- 2** 吹出ノズルを取り付けたステーを基礎内側の換気口に合わせ、付属のトラスタッピンねじ（φ4×16）で基礎の木部などに締め付け、固定します。
- ※吹出ノズルの吹出口が換気口の中心にくるように合わせてください。
- ※木部にステーが取り付けられない場合は、付属のコンクリートプラグを使用してください。

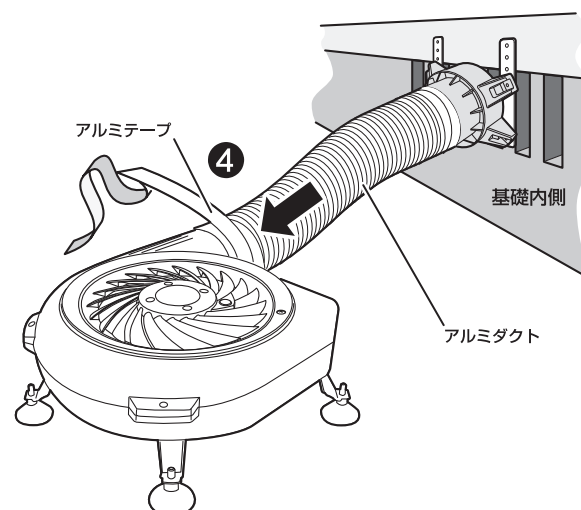
- △ 注意**
- ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

- 3** 吹出ノズルのアルミダクト挿入口にアルミダクトを差し込み、アルミテープで締め付け、固定します。

- △ 注意**
- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
 - アルミテープで締め付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。

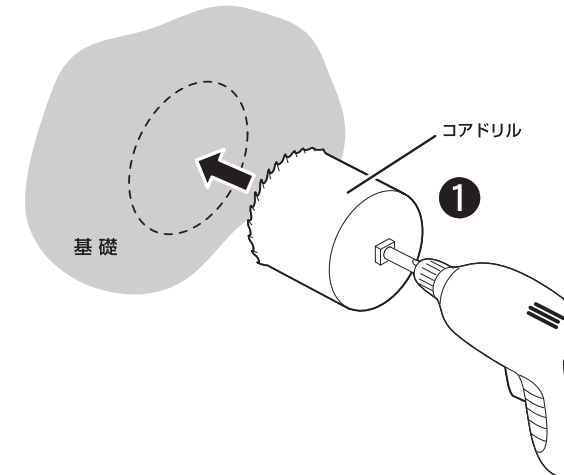
- 4** 本体を据え置き、吹出ノズルからアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差し込み、アルミテープで締め付け、固定します。
- ※P5の『ダクト工事に関する注意事項』をよくお読みください。

- △ 注意**
- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
 - アルミテープで締め付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。
 - 本体に傾きがないよう、また、アジャスターフットは地面からの浮きがないよう設置してください。



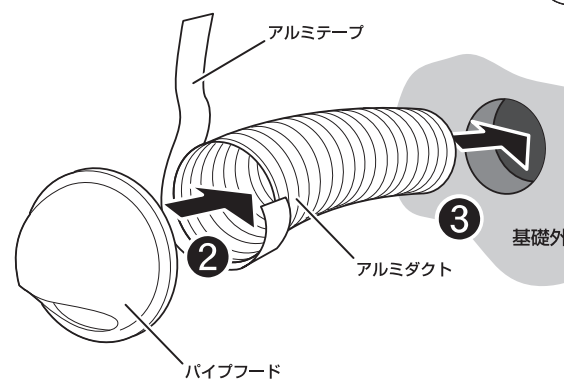
ブロー型換気扇の施工方法（据置Pタイプ）

- △ 注意**
- アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
 - アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。



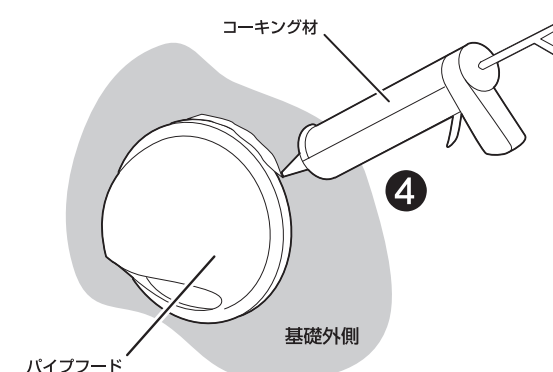
- 1** 基礎にコアドリルでφ110の穴を開け、ダクトが通るようにします。
- ※状況に応じて外側・内側から開けてください

- △ 注意**
- 電動ドリルを使用する際は、十分注意してください。けがの恐れがあります。

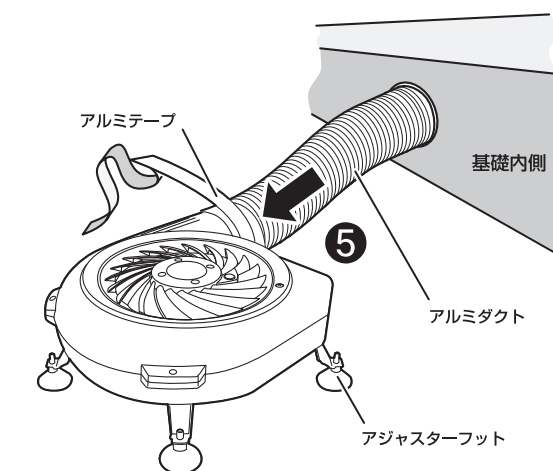


- 2** パイプフードをアルミダクトに差し込み、アルミテープで締め付け、固定します。

- △ 注意**
- アルミテープで締め付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。



- 3** アルミダクトを①で開けた穴に屋外から差し込みます。

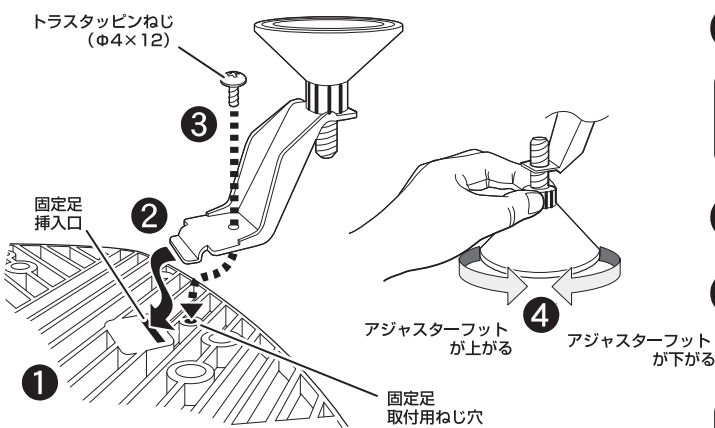


- 4** パイプフードと基礎のすき間を市販のコーキング材でコーキングします。
- ※変成シリコンをコーキング材として使用すると後に塗装ができます。

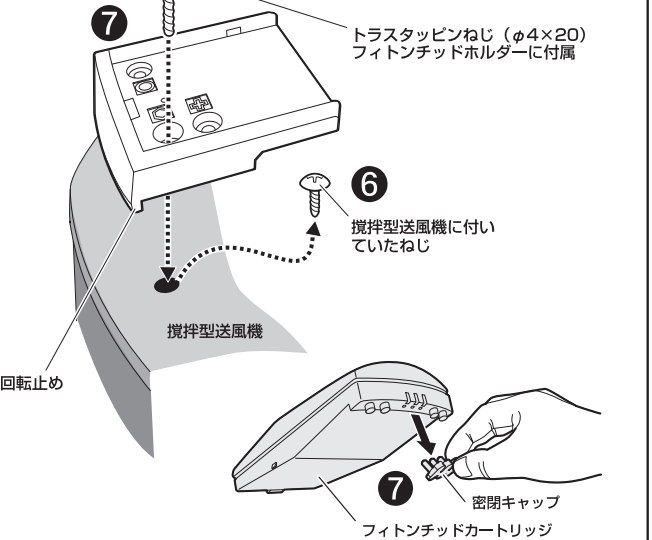
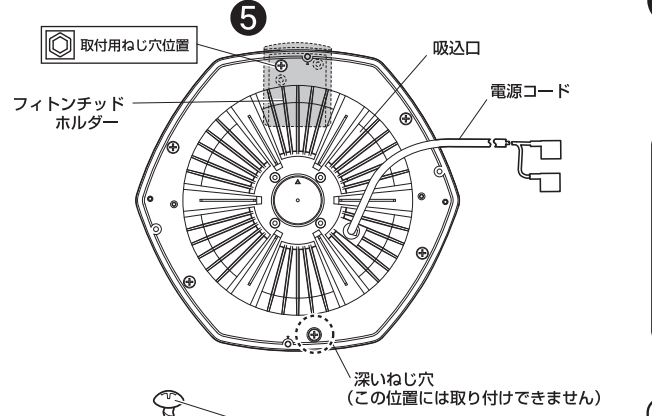
- 5** 床下に本体を設置し、③で差込んだアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差し込み、アルミテープで締め付け、固定します。
- ※P5の『ダクト工事に関する注意事項』をよくお読みください。

- △ 注意**
- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
 - アルミテープで締め付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。
 - 本体に傾きがないよう、また、アジャスターフットは地面からの浮きがないよう設置してください。

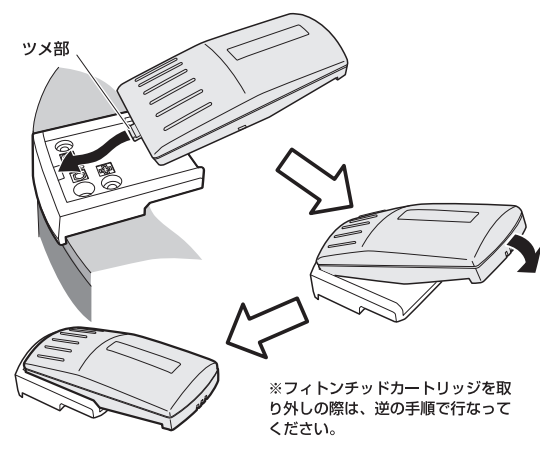
攪拌型送風機の組立方法



フィトンチッドホルダー取付図（参考）



⑨ フィトンチッドカートリッジの取付方法



- 1 本体を逆さまにし、底板面を上 にします。

注意

 - 本体を逆さまにする際に吸込口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。
- 2 固定足挿入口に合わせて固定足の先を差し込みます。
- 3 底板の固定足取付用ねじ穴に固定足の穴を合わせ、付属されているトラスタッピンねじ（φ4×12）で締め付け、固定します。

※ ②～③をくりかえして固定足を3ヶ所取り付けます。

注意

 - ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。
- 4 本体をもとにもどし、本体が水平になり、また、がたつきがないようにアジャスターフットの高さを調整します。

※ 時計方向にまわすとアジャスターフットが下がり、反時計方向にまわすとアジャスターフットが上がります。

注意

 - 据置面が水平であるか確認して据え置きしてください。
 - 据え置く時はアジャスターフットの下に小石などがないことをご確認ください。
 - 固定足を持って運んだり、施工時に押したり引いたりしないでください。破損・変形の原因となります。
 - 障害物がある場合吸い込みの抵抗になるため、吸込口からは35mm以上はなしてください。（フィトンチッドホルダーを除く）
- 参考**

5 左図（フィトンチッドホルダー取付図）を参照して、攪拌型送風機にフィトンチッドホルダーを取り付ける位置と取付用ねじ穴位置を確認します。

※ 取り付ける攪拌型送風機によってねじ止める取付用ねじ穴位置が異なります。

注意

 - 攪拌型送風機の吸込口を下向きに取り付ける場合はフィトンチッドカートリッジは取り付けできません。フィトンチッドカートリッジが落下する恐れがあります。
- 6 取付用ねじ穴位置にあるねじを、攪拌型送風機からはずします。

※ 取りはずしたねじは使用しません。金属ごみとして地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
- 7 ⑥ではずしたねじ穴位置にフィトンチッドホルダーの取付用ねじ穴を合わせ、付属のトラスタッピンねじ（φ4×20）で締め付け、固定します。

※ フィトンチッドホルダーの回転止めを、攪拌型外周の縁に合わせてください。

注意

 - ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。
 - 適正締め付けトルク：1.2～1.5N・m（12.2～15.3kgf・cm）
 - 必ず付属のねじで締め付けてください。攪拌型送風機に付いていたねじで締め付けると破損の恐れがあります。
- 8 フィトンチッドカートリッジの密閉キャップを外します。

※ 香りの量を調整する場合、密閉キャップで穴を2カ所または1カ所塞いでください。
- 9 フィトンチッドホルダーにフィトンチッドカートリッジのツメ部を差し込み、ツメ部を支点に取り付けます。

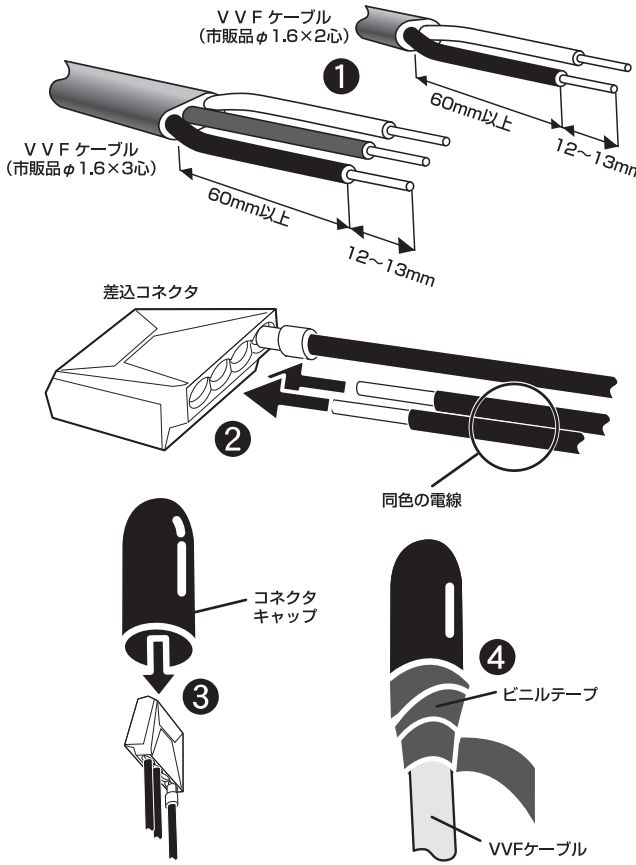
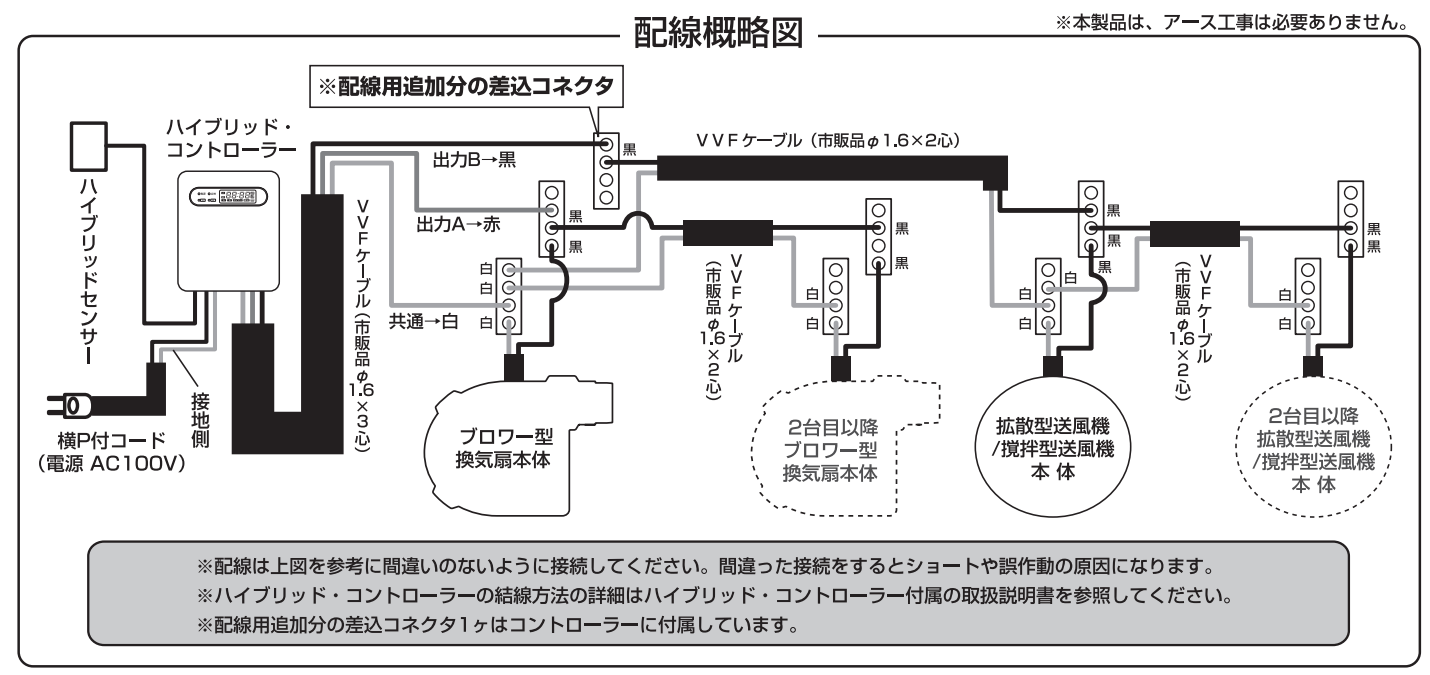
注意

 - 確実に取り付けられていることをご確認ください。

※ 標準お試し版フィトンチッドの効果は約3～4カ月です。（送風機の使用環境によって異なります）カートリッジの交換の際は左図を参照してください。

使用済みのフィトンチッドカートリッジはプラスチックごみとして地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

配線および結線方法（コントローラー）



- 1 V V F ケーブル（市販品）を12～13mm段剥きし、曲がり等があれば直してください。

※ V V F ケーブルは市販品のもので（φ1.6×3心）（φ1.6×2心）をお使いください。

警告

 - 電線の段剥きの長さは必ずお守りください。
- 2 段剥きしたV V F ケーブルを先端が突き当たるまで、差込コネクタに強く挿入してください。

※ 一本毎に引っ張り、抜けないことをご確認ください。

警告

 - 上図（全体配線図）を参考に間違いのないように接続してください。
 - ショートや誤作動の原因になります。
 - 曲がった電線は必ず真直ぐに直して差し込んでください。
 - 不適正な電線の使用は火災の原因となります。
- 3 付属のコネクタキャップを被せてください。

警告

 - コネクタキャップを被せた後は、必ず先端を上に向けてください。
 - ※ 下に向けると水滴が溜まり、漏電・ショートの原因になります。
- 4 ビニルテープを半幅以上重ねて3回以上巻いて固定してください。

工事完了後の点検

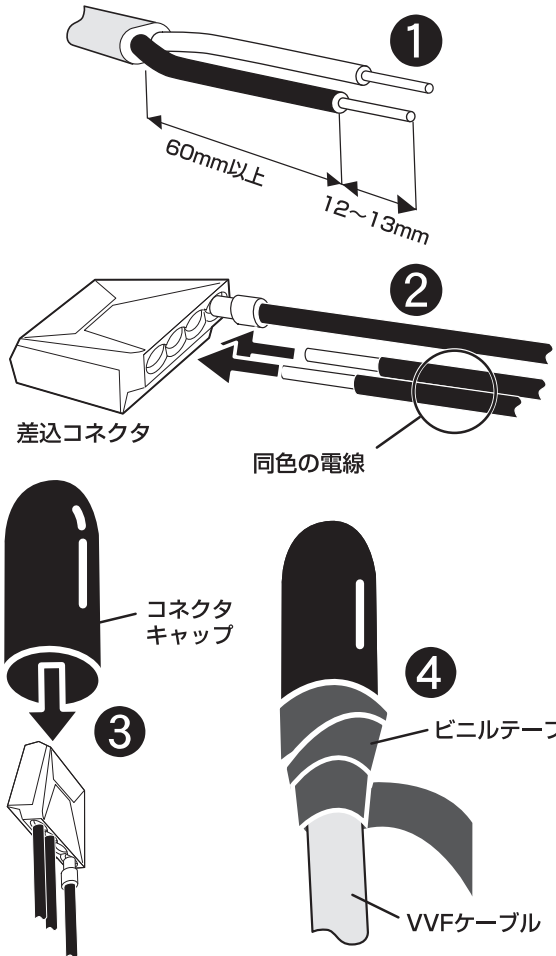
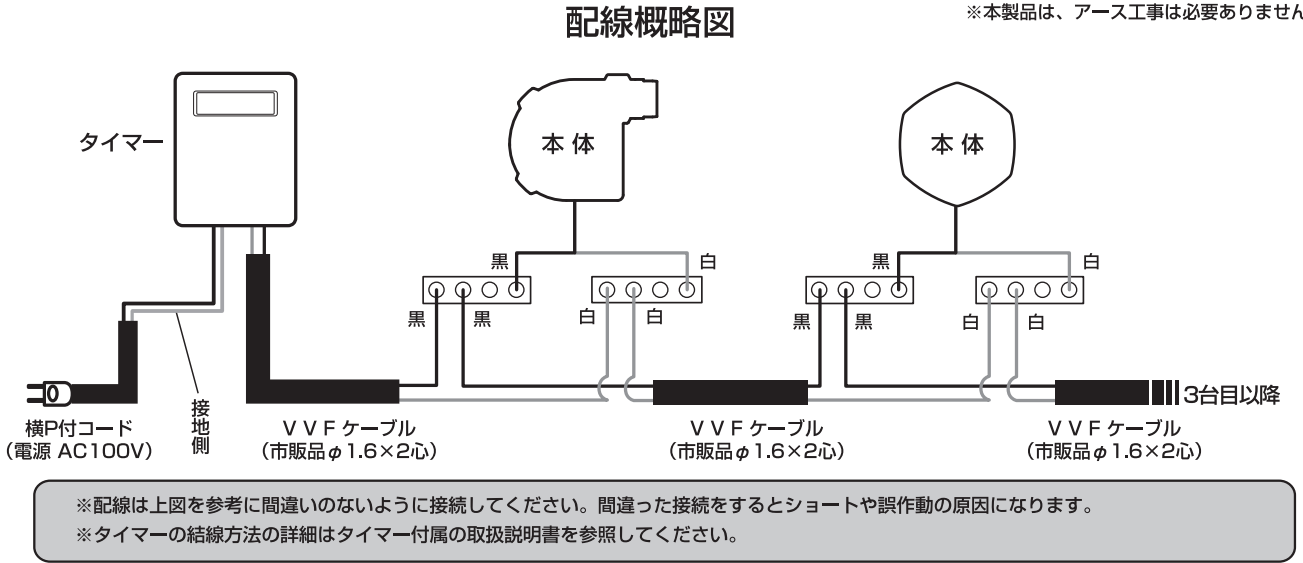
取付の確認

本体・アルミダクト・吹出ノズルおよびハイブリッド・コントローラーが正しく取り付けられているか確認してください。

運転の確認

- コンセントに横P付コードを差し込み、ハイブリッド・コントローラーのモードを **A** および **B** にして換気システムが正常に運転していることを確認してください。
 - 換気システムを運転している時に、振動音や異常音がないか確認してください。
 - ハイブリッド・コントローラーのモードを **タイマー** にしてください。
- ※ ハイブリッド・コントローラーの使用法は、ハイブリッド・コントローラー付属の取扱説明書をご参照ください。

配線および結線方法(タイマー)



- 1 VVFケーブル(市販品)を12~13mm段剥きし、
曲がり等があれば直してください。
※VVFケーブルは市販品のもので(φ1.6×2心)を使用してください。
- 警告
- 電線の段剥きの長さは必ずお守りください。
- 2 段剥きした電線を先端が突き当たるまで、
差込コネクタに強く挿入してください。
※一本毎に引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 警告
- 1つの差込コネクタには異なる色の電線を差込まないでください。
●曲がった電線は必ず真直ぐに直して差し込んでください。
※不適正な電線の使用は火災の原因となります。
- 3 付属のコネクタキャップを被せてください。
- 警告
- コネクタキャップを被せた後は、必ず先端を上に向けてください。
※下に向けると水滴が溜まり、漏電・ショートの原因になります。
- 4 ビニルテープを半幅以上重ねて、3回以上巻いて
固定してください。

工事完了後の点検

取付の確認

本体・アルミダクト・吹出ノズルおよびタイマーが正しく取り付けられているか確認してください。

運転の確認

- コンセントに横P付コードを差し込み、タイマーのモードを **連続運転** にして換気システムが正常に運転していることを確認してください。
- 換気システムを運転している時に、振動音や異常音がないか確認してください。
- タイマーのモードを **タイマー** にしてください。
※タイマーの使用方法は、タイマー付属の取扱説明書を参照してください。

故障かなと思ったら(コントローラー)

まず次の点をもう一度お調べください。

- 停電もしくは、ブレーカーが落ちていませんか？
- ハイブリッド・コントローラーの横P付コードが、コンセントからはずれていませんか？
- ハイブリッド・コントローラーは、正しく設定されていますか？
●現在時刻を確認してください。
●タイマー設定時刻を確認してください。
- タイマー運転時間内ですか？
●タイマー設定時刻を確認してください。
●タイマー運転時間外であればハイブリッド・コントローラーのモードを **A** および **B** にしてファン運転を確認してください。
確認後再びモードを **タイマー** に切替えてください。
- ハイブリッド・コントローラーのモードが **停止** になっていませんか？
※詳細な設定方法はハイブリッド・コントローラー付属の取扱説明書を参照ください。

故障かなと思ったら(タイマー)

まず次の点をもう一度お調べください。

- 停電もしくは、ブレーカーが落ちていませんか？
- タイマーの横P付コードが、コンセントからはずれていませんか？
- タイマーは、正しく設定されていますか？
●現在時刻を確認してください。
●タイマー設定時刻を確認してください。
- タイマー運転時間内ですか？
●タイマー設定時刻を確認してください。
●タイマー運転時間外であればタイマーのモードを **連続運転** にしてファン運転を確認してください。
確認後再びモードを **タイマー** に切替えてください。
- タイマーのモードが **停止** になっていませんか？
※詳細な設定方法はタイマー付属の取扱説明書を参照してください。

memo